

初雪山行 三倉山

須藤 信

- 山行年月日:平成 30 年 11 月 25 日
- メンバー:CL大竹尚子 佐藤利伊
外島正明 小沼充範 須藤信
- コースタイム:神社 7:30—登山口 8:00
—尾根分岐 8:30—空沢山 10:30—三倉山 11:50—下山開始 12:40—神社 15:10

今季の冬はエルニーニョ現象の影響で暖冬だとニュースで流れていた。周囲の山々の山頂部分は白いが、今のところ平地では雪の降る気配はない。今年初の初雪山行は三倉山、那須山系の山は大雨の影響で大峠までの林道が決壊し、栃木県側の茶臼岳や朝日岳しか登っておらず会津側から登るのは久々で楽しみだ。



神社より登山開始

近年メインの登山口になった神社に着くと、2パーティーが準備をしていた。林道を進み登山口から沢筋の登山道に入る。好天予報で今朝は冷え込み、日陰の登山道には霜柱が立派に立っていた。登るにつれ雪も増えてきて、ようやく旧登山道との尾根分岐に着く。木々の間か

ら、近くの南倉沢高倉山や白い飯豊連峰が顔を見せる。大休憩後歩を先に進めると、毎年7月に開催される山開きが中止になったためか登山道の手入れがされず、笹が茂って荒れている感じだ。積雪は数センチあり、落ち葉と木の根が滑り歩きにくい。日差しがまぶしくなってきた気温も上がり、時々樹木の霧氷が落ちて首筋に入ると思わずヒューと声が出る。辺りはアスナロが多く、ブナは小木でキノコがある雰囲気ではない。それにしても若い小沼君は早い。追いかけるようにひたすら登り、ようやく空沢山へ出た。

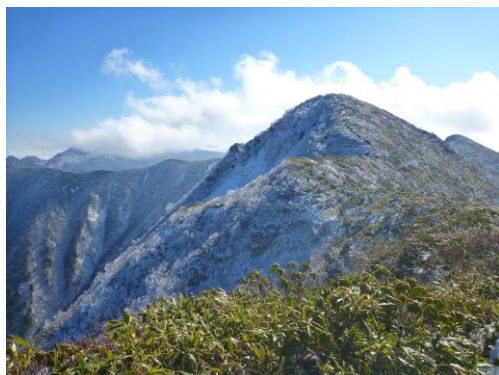


空沢山(唐沢山) 1692m

ここからは展望が開け、近くの二岐山や小野岳、雲海の下に会津盆地、その奥に真っ白な飯豊連峰が良く見える。南西には浅草岳や燧ヶ岳と至仏山、日光の山も良く分かる。ここでホーさんはヌーボーを解禁してしまい、風邪気味の尚子さんと今日はここを山頂に決めた。

まだ元気な3人で三倉山を目指す。灌木帯になり稜線上は好展望の中の歩き

となる。急登とアップダウンを越え、三倉山頂に着くと先行パーティーは大倉山をピストンするというから健脚ぶり



稜線から三倉山を望む



三倉山頂 1888m

に脱帽である。

私たちは青空の下、この時期としては風もなく穏やかな山頂で、大パノラマを楽しみながら豪華ランチにした。今回の山行の

目的の一つはランチのシェアだったので、皆で食材を持ち寄った。外島さんが持参したハムのブロックを厚切りにし豪快に焼いて、ファミチキと道場六三郎のスープを堪能した。やっぱり冬季の山行は暖かいものありがたい。

下山は少ない雪が融けてきて良く滑り難儀したが、無事神社に着いた。最高の天気においしいランチ、楽しい初雪山行でした。

